

# 「未来を創る人材への投資」分科会

## 構成メンバー(6者)

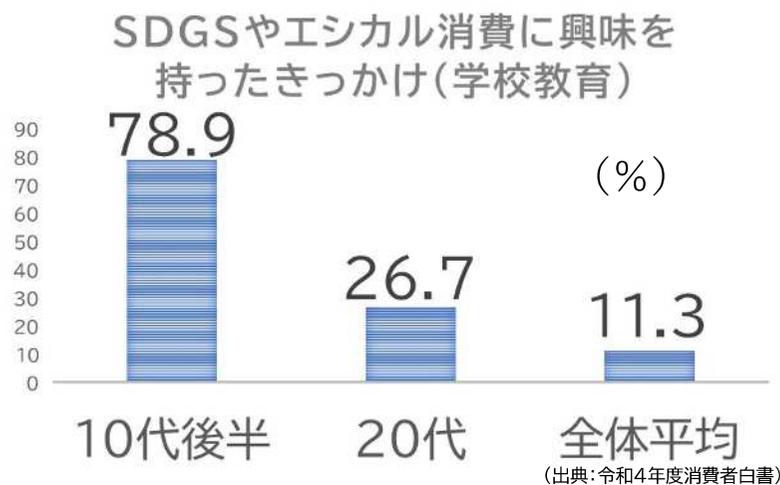
筑波大学附属坂戸高等学校(生理用品×学校チーム)  
イオンモール浦和美園  
埼玉ライナー株式会社  
有限会社宮原水道工業所  
マテリアルエード株式会社  
県計画調整課

# 目次

- 1 分科会活動の背景・課題
- 2 活動スキーム
- 3 生理用品×学校チームの活動背景・解決したい課題
- 4 メンバーからの意見・アイデア
- 5 分科会で検討した事業・取組
- 6 本分野における今後の展開
- 7 支援企業から高校生に向けたメッセージ

# 1 分科会活動の背景・課題

- 主として学校教育によりSDGsに興味を持つ**若者は多いが、活動の場や活動資金確保に制約がある**
- SDGsの活動に取り組みたい**企業は人員面の不足や取組方法がわからない**といった課題がある



## 企業がSDGsに取り組むにあたっての課題

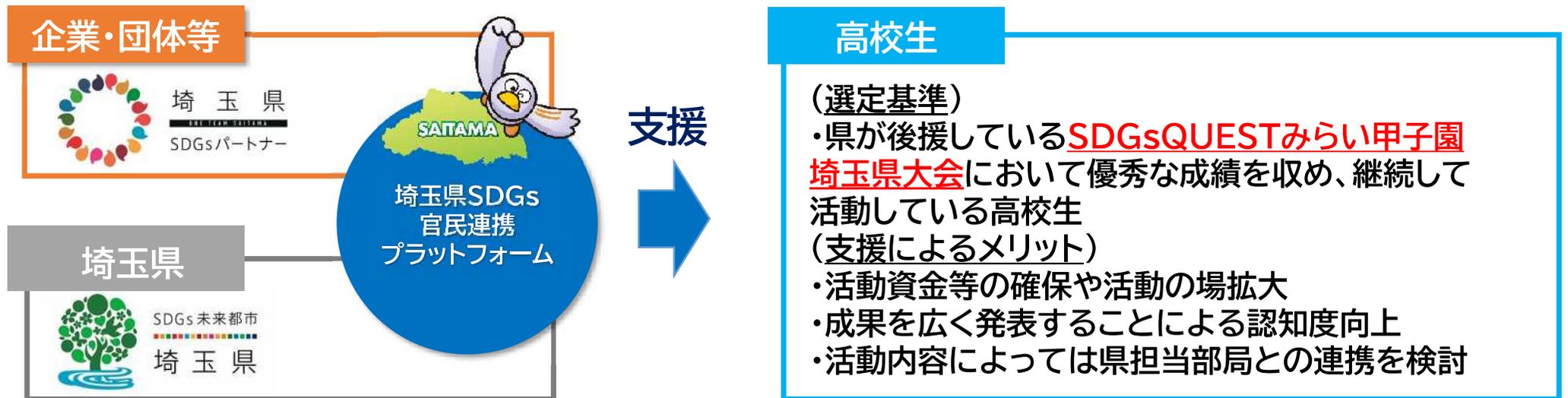
課題	回答(%)
取り組むための人員不足	44.7
どのように取り組めばよいか分からない	28.9

「埼玉県SDGsパートナー登録者へのアンケート調査」の  
上位2つの回答を抜粋

## 2 活動スキーム①

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用し、SDGsに取り組む若者（高校生）の活動に賛同する企業が活動資金や物品、活動場所を提供。県はマッチング及び広報による支援を行う。

⇒ ワンチーム埼玉でSDGsの取組を推進



## 2 活動スキーム②

令和6年度支援対象

筑波大学附属坂戸高等学校  
「生理用品×学校チーム」



2023年度埼玉県大会 SDGs QUEST  
アクションアイデア最優秀賞 受賞  
(路上ワークショップから実用的な生理の知識を広める)

## 2 活動スキーム③

### 寄附・活動支援企業

- ・イオンモール浦和美園 (活動場所提供)
- ・埼玉ライナー株式会社 ( // 資金提供)
- ・有限会社宮原水道工業所 ( // 資金提供)
- ・マテリアルエード株式会社 ( // 物資提供)

その他の支援申出自治体・企業・団体

- ・行田市
- ・奥原歯科医院
- ・金子商事(株)
- ・川口信用金庫
- ・(株)さいたま資材
- ・NPO法人 にじの絲

### 3 生理用品×学校チームの活動背景・解決したい課題

#### ○生理用品×学校チームの活動背景

- ・ コロナ禍に「**生理の貧困**」という言葉を目にし、**学校**でもなにかできることがないかと考えたこと

#### ○解決したい課題

- ・ **生理の貧困**(**経済面**だけでなく**知識**の貧困も)
- ・ **生理**に対しての**タブー視**を無くしていく  
(トイレットペーパーと同じくらい)
- ・ 学校生活、**生理**をもっと**楽しく**していく

吸水実験の様子



## 4 メンバーからの意見・アイデア

- SDGs QUESTみらい甲子園で発表した「**生理に興味のない人も巻き込む『路上ワークショップ』**」を実現したい
- 「自分の体や生理と向き合うことの大切さ」を伝えたい
- **高校への生理休暇導入**に向けて自分たちの活動を広めたい
- **無料配布用のナプキンを安定的に仕入れたい**
- **ワークショップで使うものなどの購入費・交通費等の支援が欲しい**
- **生理についての知識をまとめた冊子を作り、配布したい**
- **生理痛体験ワークショップ**

## 5 分科会で検討した事業・取組①

### ○イオンモール浦和美園店にて「路上ワークショップ」の実現

- ・ペルソナカードゲーム
- ・生理用品の吸収実験
- ・生理の基礎知識についてののこども向け紙芝居
- ・参加者が付箋に書いて貼れる展示：「生理あるある」「生理ってこんなことあるよね展」「生理中こんなことあったらいいよね展」
- ・生理痛を緩和するセルフケアの紹介
- ・今までの活動紹介
- ・生理用品の現物展示
- ・事後アンケート



## 5 分科会で検討した事業・取組②



お母さん

子供に生理について話す機会がなかったのでよかった



40代男性

何となく分かってはいてもしっかりと生理の話を聞くことがなかったのでためになった



小学生

年が近くて親近感があった



## 5 分科会で検討した事業・取組③

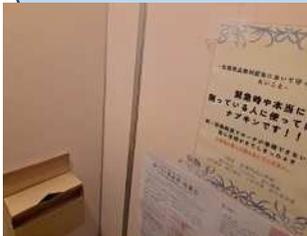
### ○ワークショップを開催した生徒の感想

- ・ 子連れの参加者に生理知識を共有し、**親子が将来を考える場を提供**できた。
- ・ 大人が自分は「知っている」と思い込んでいることに気づくきっかけを提供できた。
- ・ **世代を超えた意見交換**が貴重な経験となった。
- ・ **多様な価値観を知り、生理をタブー視しない社会**を目指す重要性を認識した。
- ・ 生理に関する活動が徐々に**世間に受け入れられている**と実感した。
- ・ **外部での活動**を通じて、**社会を変えることができる**と感じた。
- ・ **より良い社会を目指し、積極的に活動**を続けたい。

## 6 本分野における今後の展開

### ①無料配布

- ・無料配布の停止期間が発生してしまった
- 継続的な無料配布実施に向け再発防止に努める



←無料配布の様子

### ②インスタ運営

- 今までの投稿が少なかった。
- 自分たちの活動を頻繁に投稿し、より多くの人たちに存在を知ってもらう！

2回目校内ワークショップの様子↓



### ⑤生理休暇の取得

①～④を通して導入へ

### ③外部での活動

- ・学校外という緊張・新鮮さ
- ・外部からの意見を取り入れられる
- ・学生にはない視点を得られる



↑2回目校内ワークショップの様子

### ④学校内で大人数のwsの実施

- ・路上wsでの経験を活かす
- ・男子生徒も参加しやすくする
- ・生徒の関心が薄れている。
- 生理を考えるきっかけに。

## 7 支援企業から高校生に向けたメッセージ①

埼玉ライナー株式会社：活動資金提供  
(会社HP <https://saitamaliner.com/>)

未来ある若者が社会の問題に自主的に取り組んでいる姿に賛同し、今回活動資金を提供させていただきました。

SDGsを通じて、これからのよりよい社会を作る為共に活動していきましょう。

代表取締役 宮田 哲



## 7 支援企業から高校生に向けたメッセージ②

有限会社宮原水道工業所：活動資金提供  
(会社HP <https://www.miya-sui.com/>)

生理用品の実用的な知識の普及のため、活動している高校生を応援したいと思い支援を申し出ました。

タブー視されることなく、生理のことを真剣に話し合える社会に少しでも変わっていくよう、これからも頑張ってください。

代表取締役 根岸 和弘



## 7 支援企業から高校生に向けたメッセージ③

マテリアルエード株式会社：活動物資提供（生理用品）  
（会社HP <https://www.material-aid.jp/>）

高校生の皆さんが、自分たちの考えを発表・提言することは、とても素晴らしい事だと思います。

SDGs達成に向けたアイデアを生み出して、そして、取り組む仲間を増やし、これから更に若い力を発揮されることを期待しています。

代表取締役 木村 亨



# フードロス削減分科会

## 構成メンバー(21者)

味の素(株) (株)埼玉りそな銀行 イオンモール(株) (株)学研スタディエ  
(株)大泉工場 (NPO法人)つどいの会(騎西子育て応援フードパントリー)  
Heartsong (福)平野の里 和光市チームSDGs 埼玉大学  
ASTRA FOOD PLAN株式会社 ニッコー株式会社  
聖学院大学サステナビリティセンター 人間総合科学大学  
小鹿野町特定地域づくり事業協同組合 株式会社こたか  
草加市 富士高フーズ工業株式会社 フードバンクいるま  
県資源循環推進課 県計画調整課



発表者:味の素(株)

<1>



# 部会における背景・課題等について

## 1. 背景

- ・日本のフードロスの状況（廃棄量）  
※フードロス＝「食べられるのに捨てられてしまう食品」

## 2. 目的

- ・埼玉県内の企業・団体（小売業・外食企業・農家・食品メーカー・行政・教育機関等）と共に「食品の有効活用」を促進・推進することで、フードロスの削減を目指すこと

## 3. 課題

- ・フードロス削減を実施するインセンティブ、メリットがあまり認識されていないこと
- ・フードロス削減の取組を生活者に発信、促進しきれていないこと
- ・一社、一組織単独での活動内容が限られていること



フードロス削減分科会

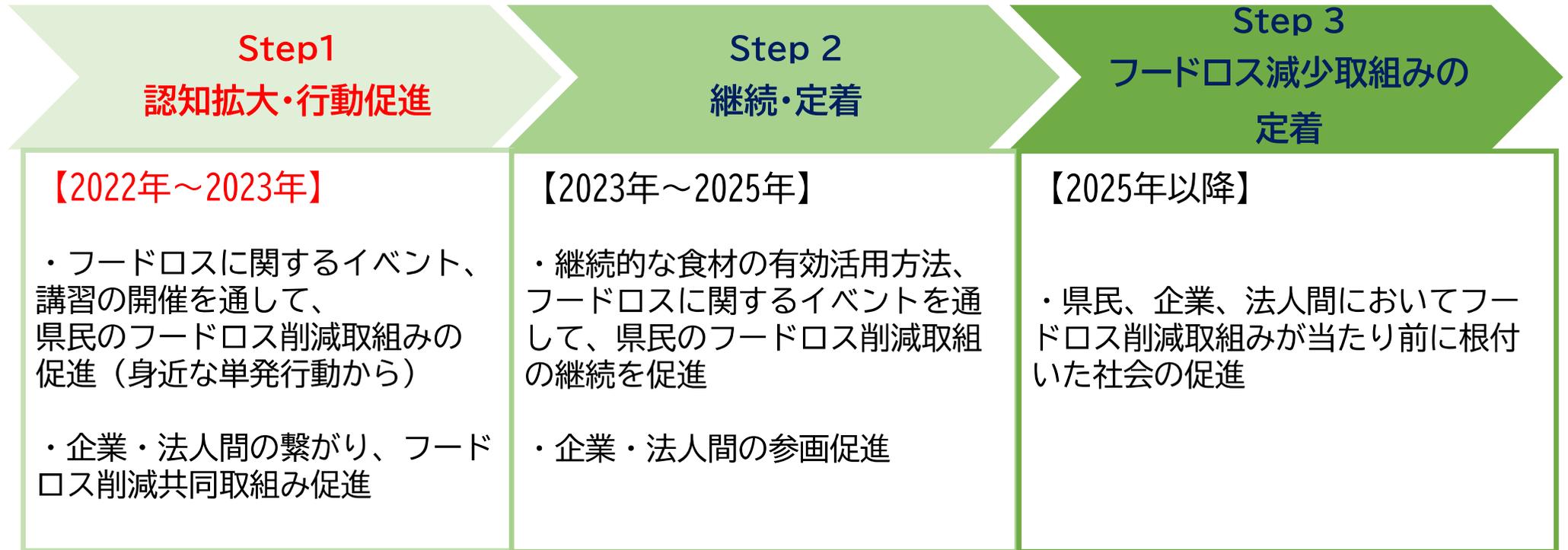
<2>



# 2022(発足)～2023年度取組について①

【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進

【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り



## 2022(発足)～2023年度取組について②

年度	取組内容	概要
2022	2022冬 SDGs大作戦	小学生を対象に埼玉県内のSDGsに取り組む様々な企業様の活動紹介、SDGs活動の内容についてクイズ形式でのイベントを実施。ハートソングによる、フードロス削減取組み内容紹介、インタビューを実施し、動画教材を作成。
	フードロス削減に関する広報活動	県内各イオンモールの施設内に設置されているサイネージを活用し、フードロス削減の啓発動画を公開。
	食品ロスについての標語をつくろう	学研スタディエ各教室で、小学生を対象にフードロス問題について学び、標語をつくるイベントを開催。
2023	「みんなでフードロス削減」イベント実施	イオンモール上尾 AGEOPARKで、フードドライブ、フードロス削減クイズ、SDGs缶バッチ作り等、様々な団体によるワークショップイベントを分科会として主催。
	みんなで考えよう！フードロス削減レシピコンテスト	フードロス削減レシピコンテストを実施。受賞作品を県HPで掲載。
	埼玉県庁食堂 フードロス削減メニュー展開	第一職員食堂、第二職員食堂がフードロス削減メニューを考案。味の素㈱が、食堂メニューを家庭用にアレンジして広く発信。



フードロス削減分科会

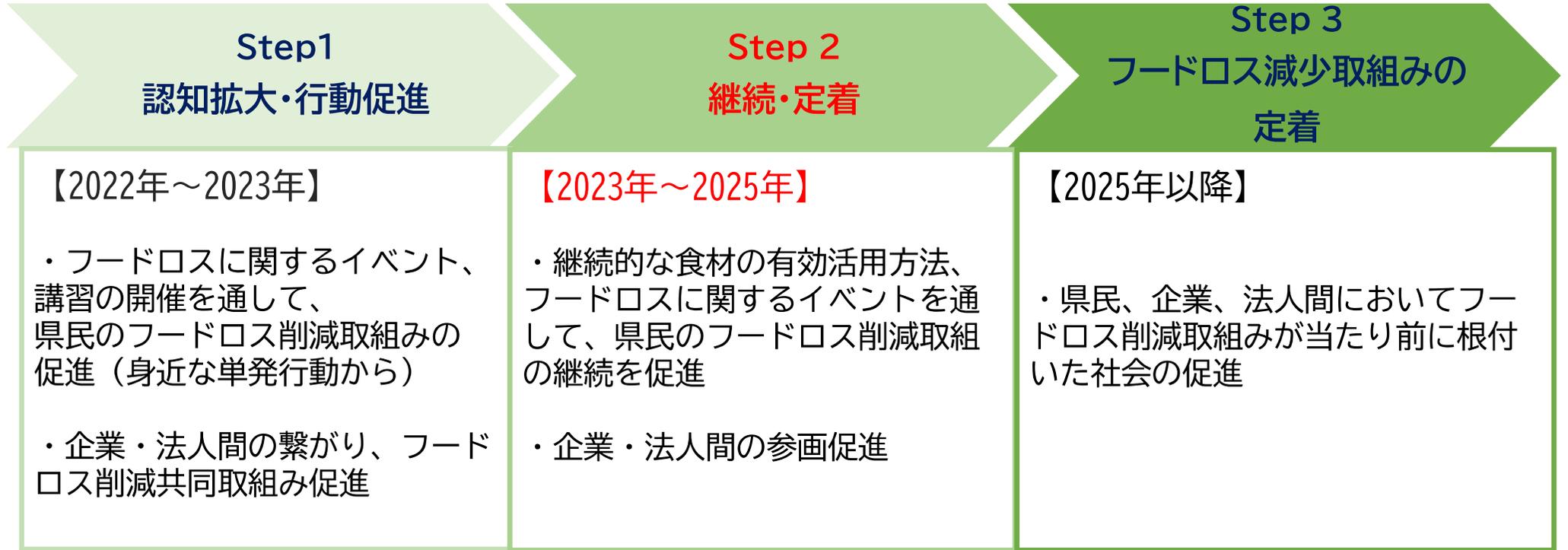
<4>



# 2024年度取組について

【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進

【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り



# 2024年度取組について①

## 【第11回埼玉フェアへのブース出展】

- ・ 日時：令和6年9月15日10時～18時
- ・ 場所：イオンレイクタウンmori（越谷市）
- ・ 出展協力者：  
学研スタディエ  
吉見町  
埼玉りそな銀行  
聖学院大学サステイナビリティセンター  
県資源循環推進課、計画調整課



フードロス削減分科会  
<6>



# 2024年度取組について①

- ・概要：お米の重さで1日のフードロス量を体感するワークショップ（吉見町）や、SDGsバッジ作り（学研スタディエ）フードロス削減SDGsかるた（県）を実施し、県民向けに普及啓発を行った。
  - ・成果：
    - 【お米の重さ当て（吉見町）】…参加人数 144人
    - 【SDGsバッジ作り（学研スタディエ）】…参加人数 34人
    - 【フードロス削減SDGsかるた（県）】…参加人数 51人
    - 【抽選会（全体）】…参加人数 約280人
- ※用意した景品のうち、末等以外の県エコバッグ30個、味の素カップスープ48個、りそなクリアファイル25枚はすべて配布

# 2024年度取組について①

ブース全体



【学研スタディエ】SDGsバッジ作り



【吉見町】お米の重さ当て



【県】SDGsかるた



フードロス削減分科会  
<8>



## 2024年度取組について②

### 【埼玉SDGsフェアへのブース出展】

- ・ 日時：令和7年1月18日、19日 10時～16時
- ・ 場所：イオンモール浦和美園（さいたま市）
- ・ 出展協力者：  
埼玉りそな銀行  
県資源循環推進課、計画調整課
- ・ 概要：フードロス削減に関するクイズ、フードロス削減かるたを活用したワークショップを実施し、県民向けに普及啓発を行った。
- ・ 成果：約186人

# 2024年度取組について②

## 埼玉SDGsフェア シールラリー

**参加方法**

- 各ブースでパンフレット(シール白紙)をもらおう!
- 各ブースを体験してSDGsシールを集めよう!
- シールを集めたら、抽選ブースに行こう!

シール3枚で1回、5枚で2回抽選に参加できます! 8枚集めると、さらにオリジナル商品をプレゼント! 抽選ブースは、会場MAPのDエリア(パンフレットの中間部分)にあります。

## 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

# 埼玉SDGsフェア

親子で楽しむワークショップ 詳しくはこちら

令和7年 1.18土・19日 10:00 ~ 16:00

**場所** イオンモール浦和美園  
所在地 さいたま市緑区美園5丁目50番地1  
**主催** 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム事務局

**SDGs シールラリー&抽選会**  
各ブースでシールを集めて、抽選に参加しよう。シール3枚で1回、5枚で2回抽選に参加できます! 8枚集めると、さらにオリジナル商品をプレゼント!

埼玉県や企業・団体等で構成されている埼玉県SDGs官民連携プラットフォームでは、特定分野のテーマを検討する6つの「分科会」を企画しています。今回は、この内4つの分科会に参加している企業・団体がSDGsのワークショップを企画しています。

**アクセスMAP**

イオンモール 浦和美園

お問い合わせ: 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム事務局 (埼玉県 浦和美園駅前内)  
Email: a2130-06@pref.saitama.lg.jp

## 会場 MAP

列に並んでお待ちいただくことができませんので、空いているブースからご利用ください。

### A ウイングコート

**「サーキュラーエコノミー推進」分科会**

- 株式会社パイロトコーポレーション 身近な筆記具でSDGs体験! リサイクルペーパーの組み立てやリサイクルインクの体験をしよう!
- 新井組株式会社 ゲーム機分解レアマテル回収ワークショップ プレム級お弁当を届けてお弁当の殻をリサイクルしよう!
- 株式会社コミュニティネット 【ぐるぐるあつめ】一緒に食べるカードゲームをやってみよう!

### B フランフラン前

**「フードロス削減」分科会**

- 埼玉を走る銀行・商業活性化推進・創設推進 合同 **フードロス削減 かるた&クイズ** フードロス削減SDGsかるた・クイズに挑戦しよう!

浦和レジスオリジナルキーホルダーづくり

### C セントラルコート

**「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会**

嵐山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

- 株式会社アイコム **ミニジオラマを作ってみよう!** 展示材とフォトアープを使って自然環境のジオラマを作ろう!
- 株式会社学研スタジアム **レジンを使ったSDGs パジャ作り** 小さなお子様でも簡単にSDGs17項目のカラーレジnpジャージを作ります。

都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会

### D スターバック前

**「未来を創る人材への投資」分科会**

- 筑波大学付属浦和高等学校 設計講師 合同 **「生活用品×学校」ワークショップ** 生活用品の活用や知識についてワークショップを通じて学びよう!

受付(抽選会場)  
事務局の抽選会ブース

# 2024年度取組について②

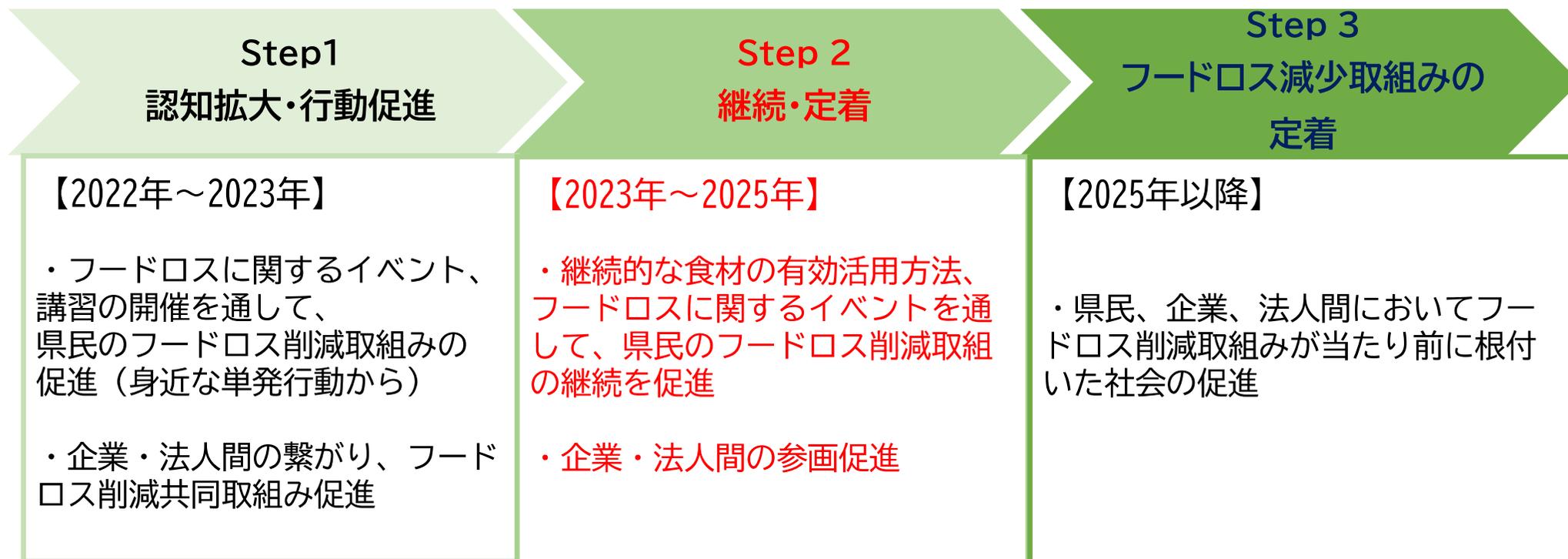


フードロス削減分科会  
<11>



# 本分野における今後の展開について

- 【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進  
【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り



# 「サーキュラーエコノミー推進」分科会

構成メンバー(301者) R6.1末現在

〈1. 企業 215者〉 〈2. 教育機関 1者〉 〈3. 市町村等 67者〉 〈4. 消費者・業界団体会員 18者〉

## 1 背景

・サーキュラーエコノミーを推進するため、令和3年6月に設立した「プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会」を発展的に拡大し、対象分野をプラスチックから全分野に変更して令和6年度から活動

## 2 取組概要

- ・先進的な取組事例の共有（R6.7キックオフイベント、R6.10第2回総会、R7.2第3回総会）
- ・会員同士のマッチング支援、事業連携支援など



発表者: 県資源循環推進課

<1>



# 分科会で検討した事業・取組等について

## 〈会員の連携による取組事例〉

### 「家庭から出る使用済みリチウムイオン電池からのレアメタル回収」

#### 1. 目的

スマートフォンやモバイルバッテリー、加熱式・電子たばこに内蔵するリチウムイオン電池等(充電式電池)には、レアメタルが含まれているが、その回収は十分に行われていない。

また、家庭から出る使用済み充電式電池が適切に分別されず、ごみ処理において火災発生の原因となっている。

#### 2. 概要

- ・市が回収した充電式電池や充電式電池内蔵製品を種類に応じて仕分け作業を実施
- ・仕分けされた電池や内蔵製品を太平洋セメントと松田産業で処理し、ブラックマス\*として資源回収

\* リチウムイオン電池等を熱処理した後に得られる粉体。コバルト、ニッケル、リチウムなどのレアメタルなどを含む。  
ブラックマスを精錬することで、レアメタルを回収することが可能。



家庭の使用済みリチウムイオン電池等

#### 3. 参加会員

太平洋セメント株式会社、松田産業株式会社  
さいたま市、所沢市、狭山市、上尾市、越谷市

# 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第12回シンポジウム 講演

使用済みリチウムイオン電池の回収実証の取り組み  
～～官民連携の取り組み～～



\*本資料は、25年2月時点までの実験の成果に基づき作成しておりますが、その正確性・確実性・完全性を保証するものではありません。万が一、本資料の情報利用に伴い損害が生じた場合も、当社は一切責任を負いかねます。

\*本資料に掲載される文章、画像等の著作物に関する権利は当社に帰属します。ただし、一部の画像等の著作権は第三者に帰属しています。事前の許諾なしに複製、改ざん、転載、配布などの利用はできません。ご了承ください。

2025年 2月 17日



**松田産業株式会社**  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

## 会社概要

設立	1951年6月	所在地	[本社] 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル6F 電話 03(5381)0001 (大代表)
株式公開	1995年8月25日	国内事業所	札幌(子会社)、仙台、水戸、東京、 <b>埼玉</b> 、神奈川、静岡、長野、名古屋、岐阜、大阪、福山、福岡、鹿児島
資本金	35億5,920万円	海外現地法人	台湾、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、韓国、インド
売上高	3,605億円 (24年3月期)		
従業員数	1,624名 (24年6月1日現在)		



### Concept

都市鉱山からの  
貴金属製錬・材料販売

産業廃棄物の収集運搬  
処理コーディネート

グローバルな調達ネットワーク  
で多様な食材を提供

### Service

- ・貴金属資源循環
- ・機能性材料の販売  
入間市で精錬工場操業
- ・ゼロエミッション
- ・環境負荷低減  
入間市で廃液処理工場操業
- ・調達コストの低減
- ・安定供給

## ◎ 当社のLIBリサイクルプロセス

### 高度リサイクル（太平洋セメント様との共同事業）

太平洋セメントはセメントプロセスを用いたLIBリサイクル事業を世界で初めて商用化。

LIB専用焙焼設備が敦賀セメント(福井県敦賀市)構内にて稼働中。

焙焼無害化後のLIBは入間市の当社プラントにて金属資源を回収。

車載用、定置用大型LIBは狭山市の積替保管拠点で解体し、資源回収と低CO<sub>2</sub>化を実現。



## 埼玉県自治体清掃工場での民生用電池による火災の課題

リチウムイオン電池が意図せずして混入し、火災事故の原因となっている。  
火災により、多額の復旧費用に加え、ごみ収集を止めざるを得ず、市民の暮らしにも大きな影響が出ている。

### 朝日環境センターのごみピットで火災が発生しました

更新日：2025年01月04日

朝日環境センター内のごみピットで、下記のとおり火災が発生しました。  
つきましては、当面の間、ごみの受け入れを停止します。

川口市HPより、<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01100/080/oshirase/47349.html>

(令和5年4月10日発表)さいたま市桜環境センターリサイクル施設の一部機能停止について (第1報)

さいたま市桜環境センターのリサイクル施設で火災が発生し、本日ごみの受入を一時的に停止しました。

さいたま市HPより、<https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/012/001/p096806.html>

### 西貝塚環境センター粗大ごみ処理施設の火災について (令和6年12月25日発生)

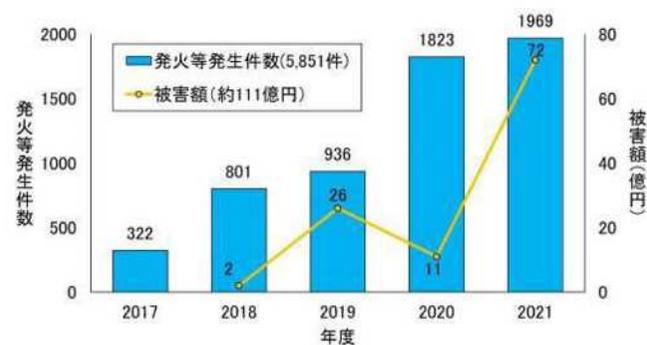
印刷用ページを表示する 掲載日：2024年12月26日更新 ページID：0384758

#### 概要

令和6年12月25日(水曜日)午後2時20分頃、粗大ごみ処理施設の前投受入れコンベア上で火災が発生。同日午後4時43分に鎮火を確認いたしました。

人が入らず、ごみの搬入受入やごみ処理施設の運転に支障がないことから市民への影響はございません。

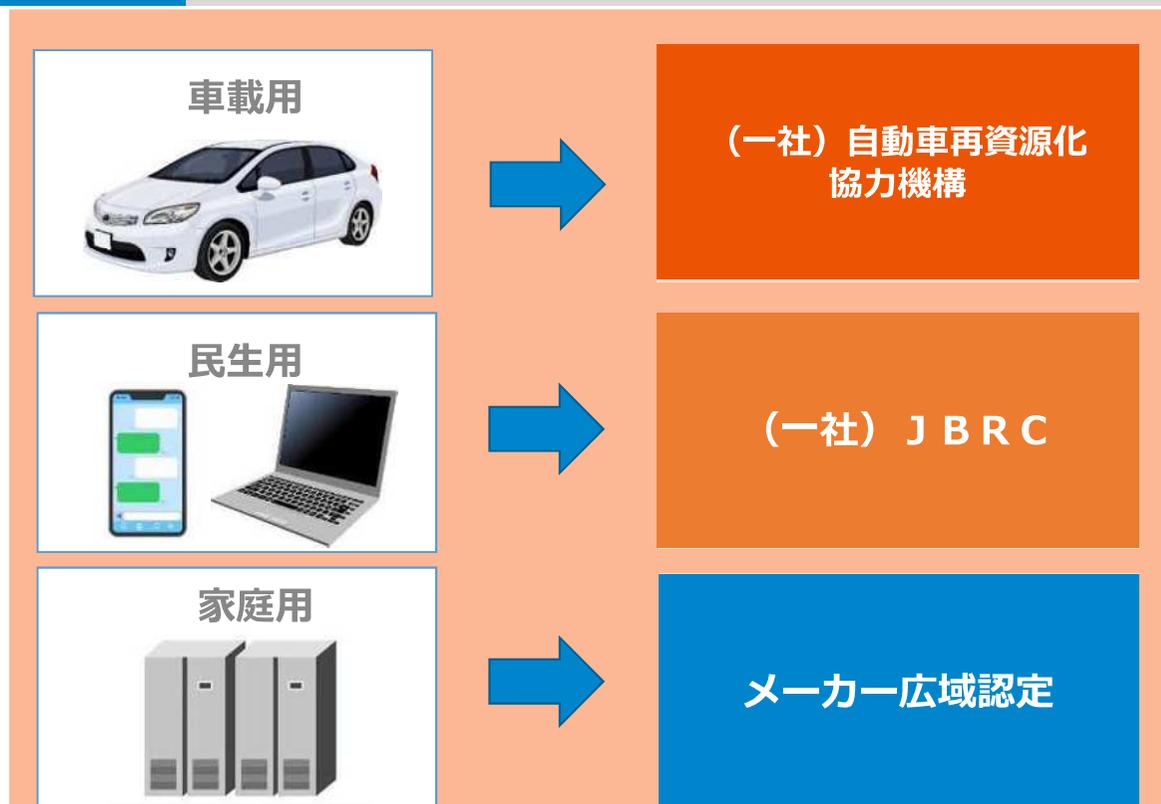
上尾市HP (写真含む) より、<https://www.city.ageo.lg.jp/page/384758.html>



独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 資料、<https://p.rtimes.jp/main/html/rd/p/000000118.000092488.html>



## ○ リチウムイオン電池の業界での回収スキームとその課題



メーカー主導で  
セーフティネットワーク構築済

広域認定制度という法の都合上、自社製品のみが対象であり、加入していない海外企業の製品や損傷品、膨らんだものは対象外になっている例が多い。

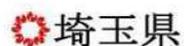
## ○ 関係者ごとの課題

対象者	問題	取り組むべき事項
一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄方法が分からない。</li> <li>自治体処理施設の火災により、ごみ処理がストップしたり、復旧に多大なコスト（税金）がかかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄方法、被害状況について周知活動を行う。</li> <li>個別に回収する日を設ける。</li> <li>個別に回収する拠点を設ける。</li> </ul>
メーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域認定の回収制度を活用しないメーカーもいる。</li> <li>電池種類の記載が無い製品がある。（特に海外）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メーカー、輸入業者が拡大生産者責任を果たせるようにルール決めを行う。</li> </ul>
自治体・行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕分をせずに焼却してしまう。</li> <li>有害品、資源含有品であるにも関わらず、適正でないルートで売却してしまうケースがある。（ヤード規制にも関係）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な仕分ルールの設定と作業者の確保</li> <li>排出者（行政）による現地確認 ※適正処理ガイドライン作成中</li> </ul>
リサイクラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>一廃許可が無いと非有価物は扱えない。（相場次第）</li> <li>スクラップコレクターにはコスト最優先で資源を海外に輸出させてしまうところもある。（経済安全保障に逆行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間リサイクラーの連携により電池処理できる体制の確立。</li> <li>資源循環に対応できる民間企業との連携、法的課題の整理を行う。</li> </ul>

**⇒それぞれの関係者ごとの課題があり、多面的なアプローチが必要**

**⇒埼玉県、松田産業社、太平洋セメント社では、業界課題を解決すべく取組中。**

## 事例紹介：2023年度 埼玉県との実証試験



### <報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和5年8月25日

家庭の使用済みリチウムイオン電池からレアメタル等を回収する実証試験を行います  
～民間企業と連携してサーキュラーエコノミーを推進します～

このたび、埼玉県は、車載用リチウムイオン電池等を再資源化している太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文）及び松田産業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田芳明）と連携し、家庭用リチウムイオン電池等の効率的な分別やレアメタルの回収を目的とした実証試験を行い、サーキュラーエコノミーの推進を図ります。

埼玉県報道発表資料より

[https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/241018/20230825\\_lib.pdf](https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/241018/20230825_lib.pdf)

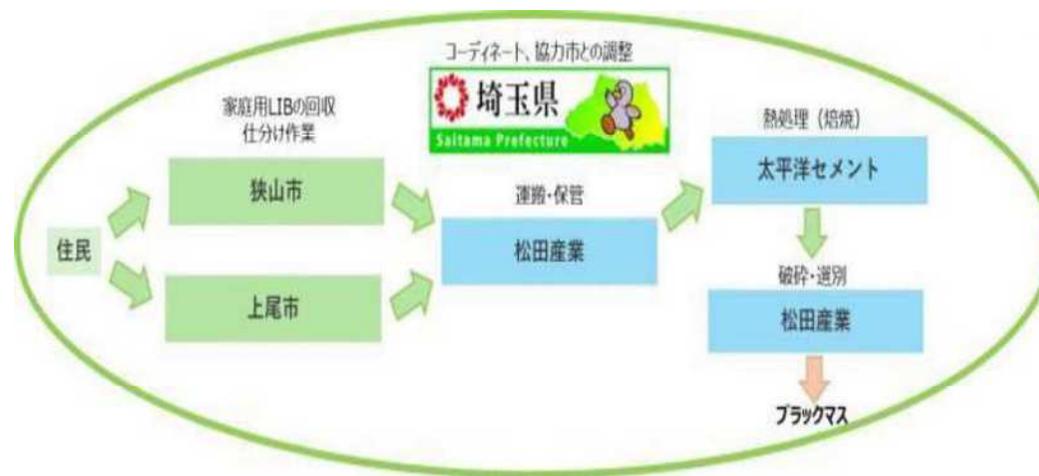
**目的：家庭用リチウムイオン電池等の効率的な分別やレアメタルの回収。**

**実施期間：令和5年9月から令和6年2月まで**

**検証内容：**①安全で効率的な分別方法の検証  
②レアメタルの活用可能性の検証

**結果：**品目ごとの有価値性の把握。  
実業ベースで実施する場合の課題を明確化。

環境部 資源循環推進課  
企画調整・一般廃棄物担当 中山・高橋  
直通 048-830-3106  
内線 3106  
E-mail: a3100-03@pref.saitama.lg.jp



埼玉県報道発表資料より

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/news/page/news2024050901.html>

## ○ 事例紹介：2023年度 埼玉県との実証試験

### 実施方法

- 1 2市（狭山市、上尾市）が回収した二次電池や二次電池内蔵製品を種類ごとに仕分け
- 2 仕分けした二次電池等について、太平洋セメント（焙焼）と松田産業（粉碎・選別）で処理



仕分けされた二次電池等



リチウムイオン電池



電子たばこ



シェーバー



敦賀セメントで  
焙焼無害化された電池



松田産業で  
回収された金属資源

### 実施結果

二次電池を種類別に、内蔵品を製品別に仕分けすることにより、ブラックマスを資源（資源価値＞処理コスト）として回収することができた

## 事例紹介：2023年度 埼玉県との実証試験



現場での仕分け作業状況

未絶縁状態



膨張状態



視認性の悪い機器



### <判明した課題事項>

- ・回収された家庭用LIBには未絶縁状態のもの、膨張や破損したものがあり、保管、輸送、再資源化において安全対策を検討する必要がある。
- ・資源回収率を高めるため、さらに仕分け作業を行う必要がある。
- ・電池の種類が非表示であったり判別不能な小型家電も多く、仕分け作業は容易でないことが判明した。
- ・有価値性が低いものについて、法的課題があり（産廃業者で一廃が扱えない）。

## ○ まとめ

### 課題

実証試験の結果、以下の課題が明らかになった

#### 1 仕分け・絶縁作業に要するコスト

多種ある二次電池等から資源を回収（＝有償での資源回収ルート）をするには、二次電池等を種類・製品別に仕分けをすることが必要。  
安全に取り扱いするには絶縁が必要

#### 2 二次電池内蔵品について、有償での資源回収ルートの構築

二次電池内蔵品は外装等の重量比が大きいと資源価値が低くなる。有償の対象物を増やすためには、運搬コストを下げるため、回収量を増やすなどの対応が必要  
運搬コストを下げてても有償が難しいものは、法的な仕組みの検討が必要。

## ◎ 今後の展開

### 今年度実施内容

- 1 自治体数が増加。5市の二次電池等の回収や保管方法、荷姿容器のコストなどを確認し、効率的な二次電池等の仕分け作業等を検討し、検証を行う
- 2 二次電池内蔵品について、有償での資源回収ルートを構築するために必要な製品、数量等を試算し、回収頻度について自治体と協議する
- 3 有償にならない製品の対応方法の検討及び課題の洗い出しを行う

県政ニュース



家庭から出る使用済みリチウムイオン電池からレアメタルを回収してサーキュラーエコノミーを推進！ -県内2市から5市に拡大して実証試験-

県政ニュース



浦和レッズ×埼玉県 埼玉スタAutumn Festival 2024 -レアメタル回収やゲーム機等分解ワークショップ-



# カーボンニュートラル推進分科会

## 構成メンバー(35者)

マテリアルエード(株) 久保井塗装(株) 埼玉りそな銀行 (株)JTB埼玉支店 (株)エコリング  
埼玉県行政書士会 東京海上日動火災保険(株) ダイキンHVACソリューション東京(株)  
埼玉県商工会議所連合会 (株)カインズ NECネッツエスアイ(株) 久喜市 東京電力エナ  
ジーパートナー(株) 埼玉県産業振興公社 新報国マテリアル(株) 三井住友海上火災保険  
(株)埼玉支店 SMC(株) (株)ニッカコーティング (株)南越商会 (株)UCHIDA  
牛山電工(株) (株)大和製作所 (株)Rise(奥むさし旅館) かわせみ行政書士事務所  
(株)小峰ビルディング 古郡建設(株) (株)和孝 パナソニック(株)エレクトリックワークス社  
埼玉電材営業所 三浦工業(株)埼玉支店 日農化学工業(株) 井桁スレート(株) (合)桑島  
技術士事務所 関東図書(株) セキネシール工業(株) (合)I'll make it  
県)温暖化対策課



発表者: 県温暖化対策課(事務局)

<1>



# 分科会における背景・課題等について

【背景】 目指すべき将来像（実現時期:2050年）

カーボンニュートラルが実現し、気候変動に適応した持続可能な埼玉

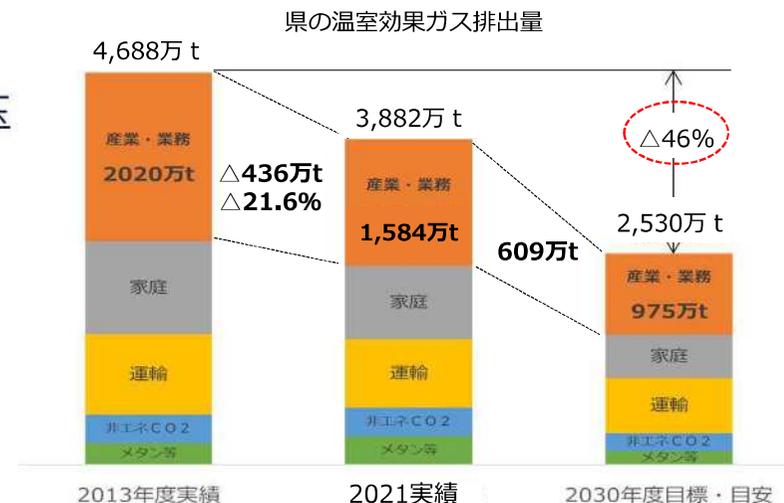
温室効果ガス削減目標（2030年度）

2013年度比（温室効果ガス排出量4,688万t-CO<sub>2</sub>）

**46%削減**

（温室効果ガス排出量2,530万t-CO<sub>2</sub>）

埼玉県地球温暖化対策実行計画（R5.3）



【課題】 補助金や省エネ相談など個別企業の支援だけでなく、中小企業と削減対策を支援する企業・団体等の関係者が連携して取組を広げていく仕組みが必要

【目的】 企業間の情報共有や交流により、県内中小企業等のカーボンニュートラル実現に向けた取組や自発的な環境投資を促進



カーボンニュートラル推進分科会

<2>



# 分科会で検討した事業・取組等について

## <脱炭素経営セミナーを開催>

プログラム	第1回セミナー (10/10) 大宮ソニックシティ	第2回セミナー (11/15) 埼玉会館	第3回セミナー (12/4) 大宮ソニックシティ
基調講演	<b>カーボンニュートラル社会と持続可能なビジネス</b> ・エネルギービジネスデザイン事務所 代表 本橋恵一氏	<b>取材活動を通して分かった中小企業の脱炭素</b> ・日刊工業新聞社編集局 記者 松木 喬氏	<b>再エネで三方よし</b> ～売り手よし、買い手よし、社会よし～ ・(一社)再エネ100宣言RE Action協議会 事務局長 金子貴代氏
CNビジネス交流会 出展企業PRブース	なんでも相談コーナー (省エネ相談、省エネ診断相談、CFP算定相談など) <b>設備関連企業</b> SMC (エアール)、ダイキン (空調)、日立 (コンプレッサー)、パナソニック (LED)、三浦工業 (ボイラー)	<b>ソリューション関連企業</b> (排出量算定サービス等) 三井住友海上、東京海上日動、NEC ネットズエスアイ、埼玉りそな銀行、ゼロボード	<b>太陽光・再エネ設備関連企業</b> (施工会社など) 東京電力エナジーパートナー、マテリアルエード、パナソニック、三井住友海上、恒電社、ソーラーフロンティア
事例1	<b>積水ハウスの脱炭素への取組とサプライチェーンに期待すること</b> ・積水ハウス株式会社 寺西一浩氏	<b>GHG排出量の計算方法を理解しよう</b> ・中小企業診断士、脱炭素アドバイザー 原田栄治氏	<b>自家消費型太陽光発電を導入してみて、良かったこと、気づいたこと</b> ・株式会社時園製作所 常務取締役 時園岳朗氏
事例2	<b>中小企業が知っておきたいこと</b> ・中小企業診断士 池田明広氏	<b>中小企業への脱炭素取組支援について</b> ・埼玉りそな銀行 鈴木 学氏	<b>カーボンニュートラル経営のすすめ</b> ・中小企業診断士、脱炭素アドバイザー 増田利弘氏
CNビジネス交流会	会場で自由交流 (ブース、相談コーナーの利用など)		

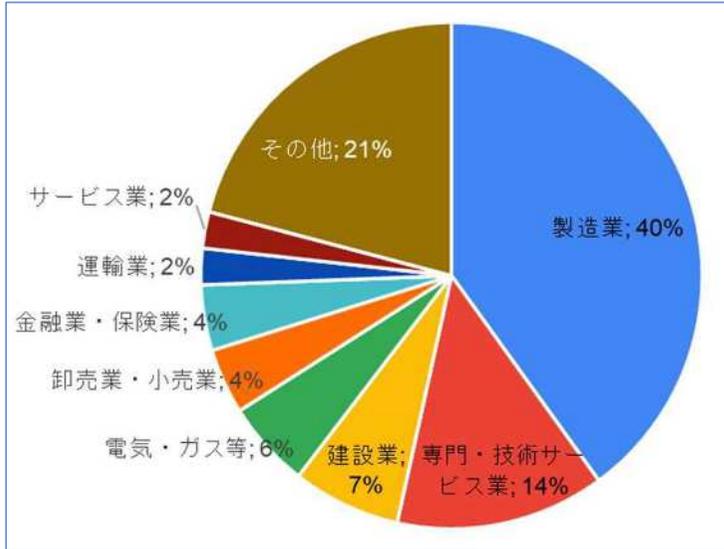


カーボンニュートラル推進分科会

<3>

# 分科会で検討した事業・取組等について

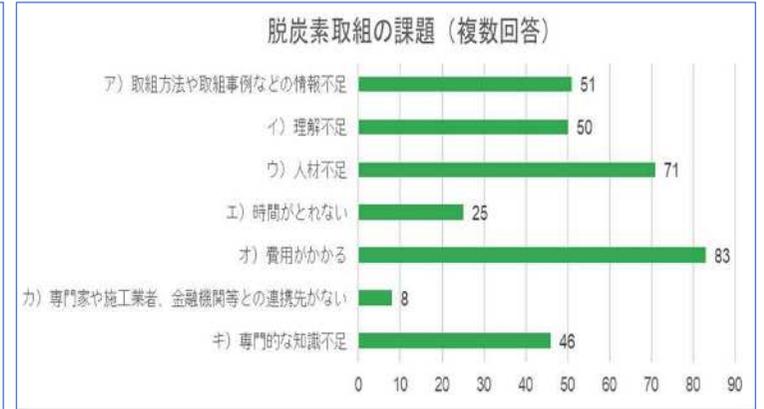
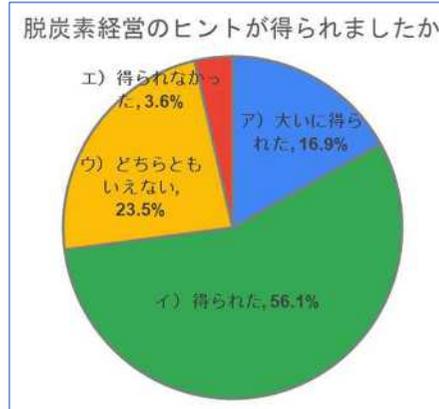
## ○セミナー参加者



(その他)

- ・情報通信業
- ・教育・学習支援業
- ・生活関連サービス業・娯楽業
- ・不動産業・物品賃貸業
- ・宿泊業・飲食サービス業
- ・その他（自治体、団体、個人事業主等）

## ○セミナーアンケート結果



- ・何から始めたらよいか足踏みしていたが、できることから始めたいと思った
- ・まず何ができるかを知ることができた、さっそく社内で話し合いたい
- ・地球温暖化による社会課題解決という視点で自社の強みを見直すことに気づかされた
- ・脱炭素経営で自社の成長や収益に結びつくか、具体的な事例を示す発表があるとよかった

(自由記述)

- ・埼玉県では、県、団体、関連企業や中小企業診断士が連携して中小企業の脱炭素経営の取組を支援して展開を後押ししていると感じた。
- ・事例の効果は大きい（興味深い）と思う。同業他社がどんな取り組みをしているか気にはなる。

# 分科会で検討した事業・取組等について

## <会員の協力によるセミナー>

会員が基調講演に登壇します。

- ・第1回 2/21 ダイキンHVACソリューション東京（株）
- ・第2回 3/5 SMC（株）

## <その他>

### ○省エネナビゲーター（省エネ診断の専門家）研修

会員のSMC（株）から紹介された企業において見学会実施  
 令和6年12月11日 金属加工業（春日部市）  
 ・空気圧システムの省エネ対策事例の現場見学

**中小事業者向け**  
**令和6年度**  
**埼玉県省エネ診断事例発表会**  
 参加費 無料

埼玉県では埼玉県省エネナビゲーター事業をとおして中小企業等向けに省エネ診断を実施しています。省エネ診断で改善効果の高い空調設備やコンプレッサー等の空気圧システムの圧力調整やエアードレインなどの対策や効果について事例発表会を開催します。併せて、個別相談会も開催致します。是非、ご参加ください。貴社の省エネ、経営改善、環境経営等の取組にご活用ください。

会場定員 50名  
 オンライン 100名

**第1期** 埼玉県省エネ診断事例発表会 “空調設備の省エネ方法と事例”  
 日時 令和7年 2月21日(金) 14:00～16:00  
 会場 新都市ビジネス交流プラザ 会議室B  
 基調講演 空調の省エネから始める、カーボンニュートラルへの第一歩  
 ～事例も交えてご紹介～  
 ダイキンHVACソリューション東京株式会社 取締役兼部長 松本 賢治 氏  
 個別発表 ①埼玉県による中小事業者の省エネ対策についての紹介  
 ②事例発表：中小事業者による空調設備の省エネ対策事例  
 ③個別相談会

**第2期** 埼玉県省エネ診断事例発表会 “エアードレイン・コンプレッサーの省エネ方法と事例”  
 日時 令和7年 3月5日(火) 14:00～16:00  
 会場 大宮ソニックシティ 市民ホール401  
 基調講演 空気圧システムの見える化と省エネ手法  
 SMC株式会社  
 中小事業者向け省エネナビゲーター研修受講生・専門家 樋口 豊彦 氏  
 個別発表 ①埼玉県による中小事業者の省エネ対策についての紹介  
 ②事例発表：中小事業者によるコンプレッサー等の省エネ対策事例  
 ③個別相談会

プログラムの詳細はホームページをご覧ください。  
 主催：埼玉県 事務局：特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

御案内HP



申込フォーム



# 本分野における今後の展開について

## ○ セミナーや交流会を継続

会員の意見やアンケート結果を踏まえて見直し

- ・業種別、設備別の内容を取り入れる
- ・中小企業の取組事例を充実する
- ・会員、企業の交流の機会を充実する

## ○ 会員がもつ製品・サービスなどをわかりやすく発信

- ・CNに向けたステップに応じた取組を集約して県HPで情報発信